

音の玉手箱 竹と木で作るサウンド オブジェと民族楽器

昔から、人は身近なものを叩いたり、吹いたり、ふり回したりして、音を工夫してきました。世界のあちこちで生まれた古代楽器や民族楽器に触れながら、竹や木で不思議な音の出る楽器や音具(サウンドオブジェ)を作ります。

2018年10月27日[土]、28日[日]【全2回】 10:30—16:30 (昼食休憩あり)
目黒区美術館

〒153-0063/東京都目黒区目黒2-4-36 TEL.03-3714-1201 www.mmat.jp

- 講師＝関根秀樹(技術文化史研究家/和光大学、桑沢デザイン研究所、多摩美術大学講師)
- 対象＝小学校3年生以上 *小学3、4年生は保護者の方と参加してください。その際、保護者の方も参加費がかかります。
- 定員＝20人(先着順/定員に達し次第、締め切ります)
- 参加費＝大人2,500円/子ども(小中高校生)1,500円(材料費、保険料含む)
※このワークショップではのこぎりなどの刃物、ドリルなどの工具を使用します。取り扱い方法はレクチャーします。
- 主催＝目黒区/公益財団法人目黒区芸術文化振興財団[めぐろパーシモンホール/目黒区美術館]

●申込方法＝

ハガキ・FAX・メールのいずれかに下記項目を記入のうえ、お申し込みください。

- ①件名「音楽と美術のワークショップ申込」 ②郵便番号・住所 ③氏名(ふりがな) ④年齢 ⑤電話・FAX番号・Eメールアドレス
- *募集開始日から先着順に受け付け、お申込みいただいた日から7日くらいを目途に、返信をいたします。

●申込先・問い合わせ＝めぐろパーシモンホール事業課「音楽と美術のワークショップ係」

〒152-0023 東京都目黒区八雲 1-1-1

TEL.03-5701-2913 FAX.03-5701-2968 Eメール:workshop@persimmon.or.jp

*2名1組で参加希望の場合、2名の③④を記入してください。*小学生のみの参加の場合、保護者の氏名を記入してください。

●申込開始＝9月10日[月]から(募集開始以前の申込は無効になります)

講師プロフィール: 関根秀樹

1960年福島県生まれ。原始技術史、民族文化史等を研究し、各地で多彩なワークショップを展開。

非常勤講師として和光大学では「音と楽器のミンゾク学」「火と人間の文化史」、桑沢デザイン研究所では「手で考える道具と技術」などを担当。

多摩美術大学では「絵の具実習」の講師を務める。

『新版 民族楽器をつくる』『竹でつくる楽器』『焚き火大全』

『縄文人になる』『刃物大全』など著書多数。

民族楽器とサウンドオブジェ

- ①むしぶえ ②うなり木 ③口琴 ④スピリット・キャッチャー
- ⑤鳥笛 ⑥ガラガラなど……